第4学年総合的な学習の時間学習指導略案

日時 平成 24 年 12 月 4 日 (火) 2 校時

- 1 単元名 「災害に備えて」
- 2 単元の目標と指導計画
 - ○目標 日ごろから災害に備えることの大切さを知り,災害時にどのような行動をとるべきか考え,「自助」の力を付ける。
 - ○指導計画(順不同)

3 本時のねらい

 数	家」 プロ へえ ソア
を見直し、バス利用時の非常時の対応について考える。 1 防災カルタで遊ぼう ・カルタという遊びを使って災害・防災 児童活動「復興・ジェクト」に関心を持つ。・カルタの読み札を災害・防災 に関する「卸町へえる内容とすることで、これらに関するウオーキングな様々な知識を遊びながら学び、吸収する。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のなれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	家」 プロ へえ ソア
 の非常時の対応について考える。 1 防災カルタで遊ぼう ・カルタという遊びを使って災害・防災 児童活動「復興・ジェクト」・カルタの読み札を災害・防災 に関する 内容とすることで、これらに関する ウオーキングン 様々な知識を遊びながら学び、吸収する。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」 	プロへえ
いて考える。 1 防災カルタで遊ぼう ・カルタという遊びを使って災害・防災 児童活動「復興」 ジェクト」 ・カルタの読み札を災害・防災 に関す 総合「卸町へえる内容とすることで、これらに関する ウオーキング 様々な知識を遊びながら学び、吸収す っ」 る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のなれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	プロへえ
1 防災カルタで遊ぼう ・カルタという遊びを使って災害・防災 児童活動「復興」 に関心を持つ。 ・カルタの読み札を災害・防災 に関す 総合「卸町へえる内容とすることで、これらに関する ウオーキングン 様々な知識を遊びながら学び、吸収す つ」 る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のなれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	へえッア
に関心を持つ。 ・カルタの読み札を災害・防災 に関す 総合「卸町へえる内容とすることで、これらに関する ウオーキング 様々な知識を遊びながら学び、吸収す つ」 る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のなれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	へえッア
・カルタの読み札を災害・防災 に関す 総合「卸町へえる内容とすることで、これらに関する ウオーキング 様々な知識を遊びながら学び、吸収す つ」 る。	ソア
る内容とすることで、これらに関する ウオーキングで 様々な知識を遊びながら学び、吸収す っ」 る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	ソア
様々な知識を遊びながら学び、吸収す 一」 る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のかれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	
る。 1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のかれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	
1 クロスロードゲーム 防災に関するとりくみにしばしば見ら 道徳「人間愛のかれるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	
れるジレンマを、自分自身で判断を下 ダル」	^ >
	立 メ
オテレを涌して「時巛を「仲ょ車」で	
リーロー リーロー	
はなく「我が事」として考える。	
┃ 1 災害に備えて(本時) 日頃から非常時に備えることの大切さ 社会「私たちのり	Į,
を知り、災害時にどのように行動する 保健「育ちゆく」	ひと
べきかを考える。わたし」	
総合「バリアフ	リー
体験」	
1 防災スリッパ作り 地震のあと「室内は食器やガラスが散 図工「ゆめいろ	ラン
乱して危険であること」など、ケガを「プ」	
しなくてすむ方法を話し合い、非常時	
の安全について考える。	
2 防災キャラクターを 防災に関するキャラクターを作ること 社会「くらしを守	:る」
つくろう で、防災に関する意識を高める。 総合「卸町のひみ	·つ]
┃ 1 ┃ これからの防災の取 ┃ これから起こりうるだろう災害に関す ┃ 社会「すみよい	くら
組について考えよう る心構えを考える。 しをつくる」「私	たち
の県」	
総合「バリアフ	リー
体験」	
総合「1/2 成人式	ا [
2 サバメシを作ろう 非常時に簡単にできる食べ物の作り方 学活「災害時に	
を知り、防災に関する意識を高める。 うするか」	

日頃から非常時に備えることの大切さを知り、災害時にどのように行動するべきかを考える。

- 4 防災教育としてのねらい
 - ○災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。(自助)
 - ○地域の自然環境,災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。(自助)
 - ○災害時には、ボランティアの活動が社会機能の回復に重要な役割を果たし得るものであることから、防災教育の柱の一つとして、ボランティア教育に取り組む。(共助)
 - ○災害発生時及び事後に,進んで他の人々や集団,地域の安全に役立つことができるようにする。 (共助)
- ※ 本時としては、「自助」の力の育成をめざす。単元を通して、「共助」の力の育成も目指していきたい。
- 5 本時の指導過程

学習活動 指導上の留意点 ・ライフラインが止まったことで日常生活を送る 1 震災時の生活を振り返る。 ・避難所で生活した当時の様子を振り返 のが大変だったことを思い出させる。その際, 震災当時の状況がフラッシュバックしないよう り,大変だったことを話し合う。 に十分配慮する。 2 本時のめあてを確認する。 災害時の備えについて考えよう。 3 地震が起きたときの仙台市の取組を知 ・震災時に多くの人に助けられたことを想起させ る。 ・「わたしたちのまち仙台」 P66 の資料か ら, 地震が起きた場合の仙台市の取組につ ・担任の前任校が避難所になったことに触れなが いて知る。 ら, 災害に対応する流れを読み取らせる。 4 非常用袋に備えてあるものについて考え る。 ・どんなものが袋の中に入っているとよい ・1で話し合った内容を想起しながら考えさせる。 ・予想したものと実際に置かれていた物を比べな かを考える。 ・「非常時持ち出しリスト」を自分で考え、 がら内容を確かめる。 ・ワークシートを準備し、災害時を想起させなが 別に作成する。 ら考えさせる。 ・友達の発表を聞いて、必要だと思うもの は 付け足す ・教室においてある非常用袋の中身を実際 に確かめてみる。 5 日頃からできることを考える。 ・「災害時の行動」について考え、発表す る。 6 今日の授業を振り返る。 授業の一言感想を書く。

(4) 板書計画

◎災害にそなえて

災害時のそなえについて考えよう。

- ○ひなん所でたいへんだったことは?
 - 水道の水がでなかった。
 - 電気がつかなかった。
 - ねるときに寒かった。

災害時の仙台市の取組

◎非常用持ち出し袋の中身を当てよう!

・水, ティッシュ, 軍手, クッキー, ばんそ うこう

非常時に自分はどんな行動をとればよいか?

- ○家に一人でいた場合。
- ○友だちと、家の近くの公園で遊んでいた場 合。
- ○友だちと2人で遊んでいて,友だちが頭に けがをしてしまった場合。(回りに誰もいない)